



週間情報



No.2939

発行日 平成29年10月10日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 平成29年度火災救助技術指導者講習会を実施

一般財団法人全国消防協会北海道地区支部道央支部

一般財団法人全国消防協会北海道地区支部道央支部では、平成29年9月22日（金）、旧小樽市立脳・循環器こころの医療センターにおいて、平成29年度火災救助技術指導者講習会を実施しました。

この講習会は、火災救助技術（検索救助、応急はしご救助）の指導技法及び安全管理の知識、技術の習得を目的として行われ、道央19消防本部（局）40名が受講しました。

講習では、東京消防庁の職員を講師として招聘し、廃院を利用した実戦的な施設において指導技法と安全管理のポイントを学びました。



【講習会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 無通告一斉立入検査を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、9月を「違反是正強化月間」としており、平成29年9月14日（木）、管内のホテル街において、避難経路の維持管理状況を確認し、防火対象物の火災予防の推進を図ることを目的に、無通告一斉立入検査を実施しました。

13軒のホテルへの立入検査を実施したところ、4件の物品除去命令を発し、翌日までに全ての改修を確認することができました。

また、この立入検査には総務省消防庁主催の「違反是正の推進に係る実務研修」により当消防局が受け入れた研修受講者等3名（県内3消防本部）も同行し、措置命令による違反是正の実務を学んでいただくことができました。



【立入検査の様子】

◆ 大相撲幕内力士の一日消防署長を実施

富山市消防局（富山）

富山北消防署では、平成29年9月27日（水）、市民に火災予防を広報する行事の一環として、富山市出身の大相撲幕内の朝乃山関を一日消防署長に迎えました。朝乃山関は、富山保育所幼年消防クラブ員の園児代表にちびっ子消防士の任命状を手渡し、園児たちと管内の事業所2カ所を訪れ、「相撲で大事な立ち会いは待ったなし！火の用心も待ったなし！」と防火を呼び掛けました。

また、管内の危険物施設では、訓練の指揮を執りました。

市内出身の人気力士が一日消防署長を務めるということで、朝から多くの市民が集まり、市民の防火意識の高揚を図ることができました。



【イベントの様子】

訓練・演習

◆ 避難訓練ジャズコンサートを開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁小平消防署では、平成29年9月17日（日）、「ルネこだいら」において、ジャズコンサート中に震度5強の地震が起き、火災が発生したとの想定により、観客や演奏者らが一斉に避難する「避難訓練コンサート」を実施し、約200人が参加しました。

コンサート開始から間もなく、ホール内に地震発生 of 緊急放送が入り演奏は中断、さらに火災発生 of 放送で、観客はスタッフに指示された扉から次々とホール外に避難を開始し、大きな混乱はありませんでした。

訓練参加者からは「コンサート中の避難訓練は初めて。めったに経験することができないのでよかった。実際の地震の際に、落ち着いて指示に従い避難できるか少し不安がある。」との意見が聞かれました。



【避難訓練の様子】

◆ 集団災害事故対策訓練を実施

大洲地区広域消防事務組合消防本部（愛媛）

大洲地区広域消防事務組合消防本部では、平成29年9月19日（火）、「えひめ国体」の開催を控え、管内にある「国立大洲青少年交流の家」において特殊災害が発生したと想定し、八幡浜地区施設事務組合消防本部と合同で訓練を実施しました。

本訓練は、大洲・西予市・八幡浜地区消防相互応援協定に基づき、消防隊員など約60名が参加して実施したもので、消防相互の協力・応援、連携活動の強化を図ることができました。

今後も継続して訓練を実施し、各種災害の活動が円滑にできるよう関係機関相互の連携強化を図っていききたいと考えています。



【訓練の様子】

◆ 警察機関との合同救助訓練を実施

北九州市消防局（福岡）

北九州市消防局では、平成29年9月19日（火）、消防局訓練研修センターにおいて、八幡東消防署・特別救助隊と福岡県警察本部・第二機動隊が合同で救助訓練を行いました。

本訓練は、近年、全国各地で発生している大地震や豪雨等の災害を踏まえ、災害対応機関が相互に連携することで、より効率的な救助活動に繋げていくことを目的としています。

今回の訓練では、交通事故現場での活動要領や資機材の取扱いを確認し、救助技術の共有化と隊間の連携を深めました。

今後も継続して訓練を行い、災害時にいち早く要救助者を救出できるよう更なる連携強化を図っていきます。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と合同で地震災害想定訓練を実施

熊本市消防局（熊本）

熊本市消防局中央消防署では、平成29年9月21日（木）、解体が予定されている病院で、熊本県警察との連携強化を目的とした地震災害想定訓練を実施しました。

本訓練は、当署管内で震度7の地震が発生し、5階建ての1階部分が倒壊、病院内に要救助者が多数取り残されているという想定で、警察と消防の合同チームを1中隊として、ブリーチングやロープレスキュー等の活動を行った結果、連携のとれた救急救助活動を行う事が出来ました。

私達は、平成28年熊本地震を経験し、他機関とのスムーズな連携こそが、早期救出及び救命率の向上に繋がる事を認識いたしました。

今後も、再び発生するかもしれない災害に対応するため継続的に合同訓練を行い、震災経験者として得た知識や技術を活かして、市民の安心・安全の確保に全力で取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者事故対応訓練を実施

岳南広域消防本部（長野）

岳南広域消防本部では、平成29年9月24日（日）、中野市内のJA長野厚生連北信総合病院との共催で多数傷病者事故対応訓練を実施しました。

本訓練は、救助活動を伴う交通事故で、傷病者が30名発生するという想定で行いました。

災害拠点病院である北信総合病院へ全傷病者を搬送する活動方針のもと、院内では災害対応マニュアルに沿った活動を行いました。

県内6医療機関（フライトドクター、DMAT、救命医）及び地元医師会や近隣の消防本部等、多数の機関にご参加いただきました。

また、近隣の看護専門学校の学生には傷病者として迫真の演技で訓練の緊迫感を高めていただくと共に、災害医療について理解を深める良い機会としてご参加いただきました。

両機関とも初の試みでしたが、地域の関係機関と連携を強化していくきっかけとなる訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 特殊災害対応合同訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、平成29年9月25日（月）、管内焼津市営野球場において、テロを想定した特殊災害（化学薬品散布）対応合同訓練を実施しました。

今回の訓練は、野球場観戦スタンドにおいて何者かが化学剤らしき液体をまき散らし、多数の傷病者が発生したとの想定で、実災害さながらの訓練を実施しました。

藤枝、焼津の両消防署から高度救助隊など10台50名が参加し、各隊が連携して広報活動、警戒区域の設定、ゾーニング、不審物の検知、負傷者の救出救護及び除染活動を行いました。

今後も、訓練を通して各種災害に備えた体制強化と隊員の見識を深めることにより、被害の拡大防止に努め、住民へのサービス向上に努めていきます。



【訓練の様子】

◆救助定期訓練（山岳救助訓練）の実施

直方・鞍手広域市町村圏事務連合消防本部（福岡）

直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部では、平成29年9月25日（月）、秋の登山シーズンを迎えるにあたり救助定期訓練（山岳救助訓練）を実施しました。

この訓練は、登山中に滑落し自力歩行困難となった要救助者を「安全・確実・迅速に救出する」を目標に行いました。

救助隊の若年齢化に伴い現場経験が少ない若手職員を中心としたチームをランダムに設定。救助隊長の付加想定に対し、隊員同士で声を出し合い協力し、実践さながらの訓練を行うことが出来ました。

今後もこのような訓練を定期的に行い、実災害でも柔軟に対応できるよう訓練を続けて参ります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と土砂災害対応訓練を実施

有田川町消防本部（和歌山）

有田川町消防本部では、平成29年9月25日（月）、当消防本部瓦礫救助施設において、湯浅警察署、湯浅広川消防組合消防本部及び有田市消防本部と合同で4機関29名が参加し、土砂災害で倒壊した家屋から被災者を救出する訓練を実施しました。

今回の訓練は警察・消防相互に連携した円滑な救助活動と協力体制の確立を目的として行われ、それぞれの部隊の技術を最大限に活かし、連携して生き埋めとなった複数の要救助者を救出しました。また、今回の訓練では初めてドローンを活用し、被害状況の確認や二次災害の監視を行いました。

警察と消防は共に国民の生命・身体及び財産の保護という責務があり、今回の合同訓練では、大規模災害だけでなく様々な現場で責務を遂行するための力強い連携強化となりました。



【訓練の様子】

◆ 松戸市地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部合同研修会を開催

松戸市消防局（千葉）

松戸市消防局西口消防署は、平成29年9月11日（月）、松戸市地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部合同研修会を開催しました。西口消防署管轄の地域防災リーダー・松戸市防火協会西口支部の会員総勢60名が参加し、千葉県西部防災センターにてHUG訓練及び防災体験を行いました。

HUG訓練では大規模災害発生時、避難所における避難者の受け入れ方を参加者が協議し振り分ける図上訓練を行い、避難所運営の難しさを痛感していました。

防災体験では、千葉県西部防災センターの最新鋭の施設を使用し地震、消火、煙及び風の災害を体験し、自然災害の恐ろしさを感じていました。

近年自然災害が多発している状況で我が町に起こった災害に地域の力で立ち向かってもらえるよう、今後も防災意識を高めていけるような活動をしていきたいと思います。



【研修会の様子】

◆ 中学生を対象に救命講習を実施 ～君の手で命を救え！！～

熱海市消防本部（静岡）

熱海市消防本部では、平成29年9月11日（月）及び12日（火）、市内中学校の一年生183名を対象に、保健学習の授業の一環として救命講習を初めて実施しました。

各中学校の体育館を会場として講習を行い、受講した生徒の「胸骨圧迫の押しリズムが難しい。」と言いつつも真剣に取り組む姿がとても印象的でした。



【講習の様子】

◆ 自動車学校にて安全運転研修を開催

見附市消防本部（新潟）

見附市消防本部では、平成29年9月13日（水）及び14日（木）、新潟県公安委員会指定見附自動車学校の協力のもと、同自動車学校にて安全運転研修会を開催しました。

自動車学校の指導員による交通事故防止の講習のほか、教習コースで消防職員が運転する消防車・救急車に指導員が同乗し、安全運転に関する意識、技術を確認してもらい、その内容を同乗する他の職員にフィードバックする研修を行いました。

この研修を生かし交通事故防止に努めていきます。



【研修会の様子】

◆ ハラスメント防止研修を実施

高槻市消防本部（大阪）

高槻市消防本部では、平成29年9月19日（火）及び20日（水）、全消防職員を対象とした研修会を開催しました。

この研修会は、第69回全国消防長会総会においてハラスメント防止宣言がなされていることから、当消防本部でもハラスメント防止に取り組み、より良い職場環境づくりに努めることを目的として、一般財団法人日本経営協会の田附宏司氏を講師に招いて行ったもので、ハラスメントの防止・対応策などを学びました。



【研修会の様子】

◆ 女性救急救命士による乳幼児育児者を対象とした救急講習会を開催

綾部市消防本部（京都）

綾部市消防本部では、平成29年9月21日（木）、市内の地域子育て支援センターにおいて、乳幼児を子育て中の母親等を対象に、心肺蘇生法等の応急手当に加え、心停止の予防にも重点を置いた救急講習会を開催しました。

この講習会は、女性救急救命士2名が講師を務め、育児者への応急手当の普及啓発とともに、女性消防吏員の活躍推進を目的に実施しました。

参加者からは、「子供を守るために今日学んだことを生かしたい。」「女性同士ということで質問もしやすく、良かった。」との声が聞かれました。

今後も、女性消防吏員の活躍の場を広げるとともに、女性ならではの強みを生かすことができるよう、様々な取組みを実施していきます。



【講習会の様子】

◆ 心電図講習会を実施

衣浦東部広域連合消防局では、平成29年9月7日（木）、14日（木）及び26日（火）に、中部大学生命健康科学部の平手裕市教授を招き、衣浦東部広域連合安城消防署で『心電図講習会』を開催しました。

始めの2日間は初級として心電図の基礎を知ること、また最終日は中級として現場での心電図判読能力の向上を目的としました。

現場で心電図を正しく判読するために、およそ150名の受講者は真剣な表情で受講していました。

心電図について基礎から学べたことは、現場での心電図判読能力の向上に寄与する、大変貴重な機会となりました。

衣浦東部広域連合消防局（愛知）



【講習会の様子】

そ の 他

◆ ガチャピン特別隊長の動画第2弾を公開

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局がフジテレビKIDSと連携して制作した動画「ガチャピン、ムックの火の用心」に続き、このたび、その第2弾として「救急」をメインテーマにした「ガチャピン、ムックの危機一髪（前編・後編）」を制作し、10月2日（月）に公開しました。

「防災」だけでなく、神戸の「観光・グルメ」のシーンを多数盛り込んでおり、第1弾とは違った仕上がりになっています。

ぜひ一度 YouTube で「ガチャピン 神戸」を検索し、動画をご覧ください。



< YouTube >

神戸市消防局 ガチャピン、ムックの危機一髪 前編

<https://www.youtube.com/watch?v=NKAuexmPleo>

< YouTube >

神戸市消防局 ガチャピン、ムックの危機一髪 後編

<https://www.youtube.com/watch?v=fHoWEmSH98A>

国等の動き

報道発表

◆ 第29回危険業務従事者叙勲（消防関係）（10月7日、消防庁）

第29回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は623名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章 330名

瑞宝単光章 293名

計 623名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 平成29年11月3日（金）

受章者は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

○ 伝達式日程

1 日 時 1回目 11月10日（金）14時00分～14時25分

2回目 11月13日（月）14時00分～14時25分

2 場 所 合同庁舎第二号館（総務省）地下2階講堂

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

3 出席予定者 総務大臣、消防庁長官、消防庁次長 他

※ 別添の受賞者名簿は割愛させていただきます。下記消防庁ホームページからご覧になれます。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/10/291007_houdou_1.pdf) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

篠宮政策評価広報官・矢島係長

Tel 03(5253)7521 内線42171

Fax 03(5253)7531